

# 2017年度

## 日本山岳遺産認定地・認定団体の横顔

2017年度、新たに日本山岳遺産として認定した6つの山域と団体をご紹介します。本年度の認定地募集には、全国各地でユニークな活動を続ける8団体から申請をいただきました。アドバイザーボードの助言のもと、事務局で検討した結果、例年以上に力強い活動を実施されている団体が多かったことから、本年度は過去最多となる6箇所を認定することとなりました。各認定団体には助成金を支給するほか、山と溪谷社の媒体を活用した広報支援などを行う予定です。

なお、各団体への助成内容と助成金額については、申請内容を鑑みて調整中です。

### ■三ツ峠 (山梨県)

#### 【認定団体】三ツ峠ネットワーク

##### 【山の概要】

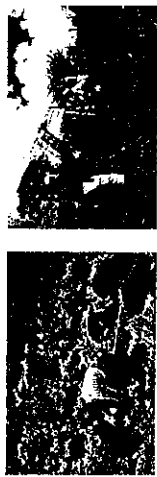
朝連山・御巣鷹山・木無山の3山の総称が三ツ峠(山)です。奈良時代から壺山とされ、江戸末期に秘蔵場として開山されました。富士山や南アルプス、八ヶ岳などの好展望地として知られており、多くの登山者が訪れます。環境省レッドリストの絶滅危惧I類に指定される希少植物・アツモリソウの自生地としても有名です。

##### 【認定理由】

三ツ峠の自然環境を守り適正な利用を進めることを目的に、三ツ峠山荘の主人らを中心に2010年に設立。三ツ峠を愛する人々の相互交流を図りながら、主にアツモリソウの監視・保護活動を続けています。

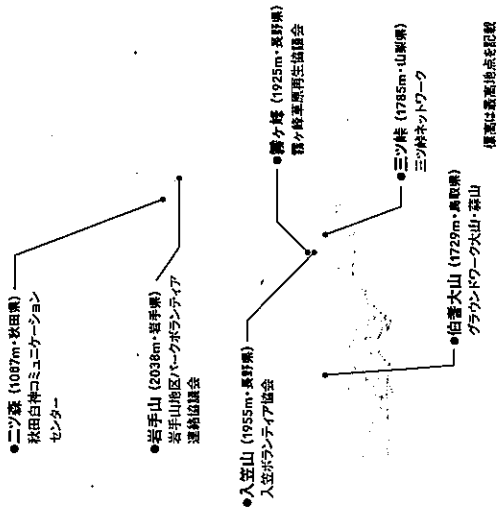
##### 【認定理由】

アツモリソウ自生地の植生維持と回復のための保全活動の実績を評価しました。深刻なニホンジカによる被害に対する、防鹿柵の設置も重要と判断しました。



25人のメンバーを中心に、地域の植生維持・回復に向けて活動している。写真は三ツ峠にも及ぶ防鹿柵の設置。各地で深刻化するシカ被害は三ツ峠にも及ぶ。

### ■2017年度の日本山岳遺産認定地と認定団体



### ■岩手山 (岩手県)

#### 【認定団体】岩手山地区パークボランティア連絡協議会

##### 【山の概要】

岩手山は奥羽山脈北部にある成層火山です。北東山腹の絶壁り落岩流は国指定特別天然記念物となっています。さらに、山体は形成時期の異なる火山の集合体とされ、形成時期による植生の違い、多様な地形に起因する特徴的な植生分布が認められます。山頂一帯と北東山腹の一部はコマクサ群生地、岩手山高山植物帯として特別天然記念物指定を受けています。

##### 【認定理由】

2014年より、環境省認定のパークボランティアとの連携調整を図るとともに、岩手山とその周辺地域の特定外来種の駆除を主とした自然環境保全や登山道整備、避難小屋の維持管理などに尽力しています。

##### 【認定理由】

地域に根ざした団体として地道な活動を自主的に続けており、オオハongoソウなどの外来種の駆除も、自然植生の保全のために必要な活動である点を評価しました。



岩手山山頂お杉や老朽化したロープを撤去、菜蓴、靴底ロープを撤去予定。奥羽山脈北部のオオハongoソウの駆除作業

### ■入笠山 (長野県)

#### 【認定団体】入笠ボランティア協会

##### 【山の概要】

南アルプス北側に位置し、手軽に登山が楽しめます。周辺には入笠温泉や大阿原温泉などが広がり、山頂は360度の大パノラマで八ヶ岳や富士山などを展望できます。また、「花の壺山」とも呼ばれ、初夏から秋までさまざまな山野草が楽しめるのも魅力です。

##### 【認定理由】

2003年より、入笠山・入笠温泉での生態系保全活動を続けてきました。活動には地元のスポート少年団や子ども会も参加するなど、地域との強いつながりがあります。

##### 【認定理由】

活動が長期継続されている点、地域の子どもたちも巻き込み、次世代への環境教育も含めた活動である点を評価しました。



地元の小中学生も参加した、外来種の侵入した遊歩道を手入れする様子。除去作業

### ■二ツ森 (秋田県)

#### 【認定団体】秋田白神コミュニティセンター

##### 【山の概要】

秋田・青森県境に位置する白神山地の主要峰のひとつです。世界遺産登録のきっかけになった「青秋林道」の秋田側終点に登山口があり、登山道からは世界遺産の核心地が眼下に広がります。ブナ林やダケカンパネン森林限界へといった植生変化が観察でき、周辺で暮らす動植物・昆虫の存在も季節ごとに感じられます。

##### 【認定理由】

2013年より、白神山地での環境保全活動や啓発活動を続けるとともに、観光振興との両立も図り、地域振興に寄与しています。

##### 【認定理由】

児童・生徒向けの環境保全啓発活動など助成を何に活かすかが明確で、次世代への環境教育への取り組みも評価できます。



二ツ森登山口周辺で活動する地域の児童や生徒たち。新緑と残雪の白神山の山々を見渡す

### ■伯耆大山 (鳥取県)

#### 【認定団体】グラウンドワーク大山・霧山

##### 【山の概要】

日本海近くに噴出した火山で、剣ヶ峰を主峰にいくつかのピークを持つ中国地方の最高峰です。周辺では火山特有の地形・地質が見られ、火砕流によって形成された火山灰台地が広く分布しています。山腹から山裾には西日本最大級のブナ林が広がり、標高や人の手の加わり方に応じて多様な森林環境がみられるのが特徴です。

##### 【認定理由】

2008年より、大山・霧山地域で生物多様性の保全、希少野生動物の保護、自然体験学習の推進など幅広い活動を続けています。

##### 【認定理由】

大山という地名で親しまれている山を舞台に、生物多様性を生かした里山と奥山の環境学習活用事業を行うなど、活動内容もユニークである点を評価しました。



大山での自然観察トレッキングの様子。大山の西面麓に位置する丘陵域にナメクジ山トレッキンググループのメンバー

### ■霧ヶ峰 (長野県)

#### 【認定団体】霧ヶ峰草原再生協議会

##### 【山の概要】

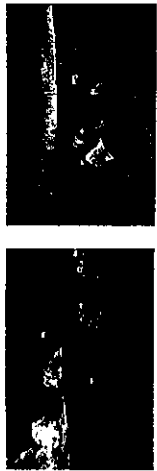
長野県の中部、八ヶ岳中岳高原国定公園の中央に位置し、主峰・草山周辺に広がる高原です。人のかかわりのなかで形作られた草原、国の特別天然記念物の指定を受ける3混原、原生的な樹林が組み合わさり、独自の生態系や自然景観を形成しています。

##### 【認定理由】

霧ヶ峰の多様な自然の保護・再生を目的に、2014年より外来種駆除や草原再生事業、シカの食害対策などを行っています。

##### 【認定理由】

本格的な草刈が行われなくなったことによる草原の森林化、シカの食害などによる草原植生の悪化、湿原の乾燥化、外来植物の繁茂などの課題を抱えるなか、希少な植生や生態系を維持・復元する重要な活動である点を評価しました。



さまざまな課題があることで多様な植生が生き残っている。希少な外来生物ハルビキヤマゲタラの駆除作業